

1. 授業の目的と概要

- テーマ 1 日本経済を経済発展・産業発展の見地から分析する。
テーマ 2 産業経済の研究手法と研究計画の立案について学ぶ。

2. 学習の到達目標

- ・産業発展および経済発展の基礎理論と分析方法を学ぶ。
- ・日本経済の経済発展論的理解についてサーベイし、学会の到達水準を身につける。
- ・産業経済に関する研究計画の立て方を学び、実際に各自の計画を立て、実施する。

3. 授業の内容・方法と進度予定

4-5 月は、テーマ 1 に沿って行う。南亮進『日本の経済発展 第 3 版』または Ryoshin Minami, *The Economic Development of Japan*, 2nd edition を使って輪読する。

6-7 月は、テーマ 2 に沿って行う。

・ 1 巡目：参加者が論文作成に向けた自分の研究計画を発表し、議論する。どれだけ具体的な研究方法、研究ステップ、スケジュールを立てられるかがポイントである。前期課程 1 年生の報告を最優先する。

・ 2 巡目：参加者が先行研究のサーベイ、基本データ分析、データ収集計画などについて発表し、議論する。

教員の説明、参加者による討論は日本語で行う。報告は英語か日本語のどちらかでよい。

4. 成績評価方法

平常の出席、討論への参加、報告によって評価する。

5. 教科書と参考書

テーマ 1：南亮進（牧野文夫協力）『日本の経済発展』第 3 版、東洋経済新報社、2002 年。日本語より英語の方が得意な者は、Ryoshin Minami, *The Economic Development of Japan: A Quantitative Study*, 2nd edition, Palgrave Macmillan, 1994 を使用してもよい。版による内容の違いは討論の素材とする。各自購入すること。

テーマ 2：とくになし。ただし、報告者が文献サーベイを行う際に、他の受講者もその文献を購入する必要があるかもしれない。

6. 履修の条件

参加者は、(1)産業経済に関連する研究テーマを持っていること、(2)担当者を指導教員、あるいは研究過程でのディスカッション相手として希望すること、の二つの条件を満たすことが必要である。

また、出席希望者は必ず 1 回目に出席するか、あるいはメール等で連絡すること。いずれもおこなわない者は、受講を認めない。アドレスは以下の通り。 kawabata@econ.tohoku.ac.jp

7. その他

テーマ 2 において 5、6 冊程度の文献購入が必要になるかもしれないので、注意すること。